## 平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| (整理番号)<br>058 | 提案機関名 | 一般社団法人神奈川県畜産振興会 |
|---------------|-------|-----------------|
|               |       |                 |

## 要望問題名

ベンチマーキングによる畜産経営体質強化

## 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】

TPP 問題等をはじめとして、今後の畜産経営環境は一段と厳しくなることが予測される。

従来からも畜産技術センターにおいて、個々の経営指導は、実施されているが、新たにベンチマーキングを 作成活用し、収益性や技術レベルをアップさせることが喫緊の課題である。

そこで個々の断続的な経営改善努力から積極的に一歩踏み出し、個々の位置づけを認識させ、継続した経営 改善が出来るようその調査内容、組織、指導体制等について、他関係機関と連携する中で、その中心的役割を お願いします。

 解決希望年限
 ①1年以内
 ②2~3年以内
 ③4~5年以内
 ④5~10年以内

 対応を希望する研究機関名
 ①農業技術センター
 ②畜産技術センター
 ③水産技術センター
 ④自然環境保全センター

備考

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 | 畜産技術センター | 担当部所 | 企画指導部

対応区分 ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

試験研究課題名 (①、②、④の場合)

## 対応の内容等

本県の畜産経営の経営体質をさらに強化し、国際競争力を身につけるには、ご指摘のとおり既存の技術指標 (家畜飼養標準・畜産経営技術指標・牛群検定・ピックス等)を活用すると共に、雇用条件や環境に対する配 慮、家畜福祉に対する対応等にも着目していく必要があります。

この課題を進めていくためには、当所の研究・普及部門をはじめ、県内の関係機関・団体や国の研究機関等、あらゆる関係機関が連携し、それぞれの立場で力を発揮して行く必要があります。

当所は本県の研究機関として、それらの機関と連携と協調を進め、これからの課題であるこの問題に対して取り組んでまいりたいと考えます。

**解决予定年限** ①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内

備考